



2014年5月27日

一般社団法人 著作権情報集中処理機構
Copyright Data Clearinghouse(CDC)

おかげさまでCDCは設立5周年を迎えました

～「世界初の試み」は著作権処理の標準へ～
～著作権処理のさらなる効率化に向けて～

一般社団法人著作権情報集中処理機構（本社：東京都千代田区、代表理事：佐々木隆一・菅原瑞夫、以下「CDC」）は、本年3月に設立5周年を迎えました。

2009年CDCは、知的財産推進計画（2008、2009）で示された方針に沿って、音楽の利用者（コンテンツプロバイダー）と権利者（著作権等管理事業者）との連携の下に、音楽配信に係る著作権処理についてICTを活用した効率化を図り音楽利用を促進することを目的に設立されました。システムの開発期間を経て、2010年4月には、著作権情報の集中処理システム「Fluzo」（フルゾ）の本格稼働とともに、サービスを開始しています。

サービス開始以来、Fluzoの利用は着実に増加し、本年4月報告の実績では、音楽配信に係る著作権処理の半数にあたる約1.7億件がFluzo経由で処理されています。現在、特に大規模な音楽配信事業においては、Fluzoの利用が日本の著作権処理の標準となっており、利用者と権利者との共同による世界初の試みとして注目されたCDCの取り組みは確実にその成果を上げています。

Fluzoが実装する、①統合データベースによる権利関係の一元的把握、②フィンガープリント技術を活用した楽曲特定、③利用曲目報告の一括処理といった先進的な機能は、Fluzo利用者から高い評価を得ています。さらにCDCは、複数の楽曲からなるコンテンツへの対応、著作権等管理事業者への報告データの自動アップロードなど、Fluzoの普及による安定した財政基盤を背景に積極的な追加開発を行い、Fluzo利用者の期待に応えています。

また、2011年には、Fluzoの最大の特徴であるフィンガープリントによる楽曲特定技術を応用し、サーバ内に蓄積された楽曲の一括検索が可能な「Fluzo-S」の提供を開始しました。Fluzo-Sはいわゆるユーザ投稿サイトにおけるコンテンツのクローリングなど幅広く活用されており、関係する権利者諸団体からも推奨されています。

これからもCDCは、安定したシステム運用と組織運営を堅持しつつ、音楽配信を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、より進化した著作権処理の仕組みの確立を目指します。また、デジタルコンテンツの円滑な流通を促進するために、CDCが培った技術や経験等の情報を適宜発信し共有するとともにその発展に貢献してまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ
一般社団法人 著作権情報集中処理機構（CDC）
Tel : 03-3262-2601 / Fax : 03-3262-2602
E-mail : info@cdc.or.jp URL : <http://www.cdc.or.jp>

【CDC について】

・名称

一般社団法人 著作権情報集中処理機構 Copyright Data Clearinghouse (略称：CDC)

・事業の目的

著作物等の利用者および権利者との連携の下に、著作物等の利用状況及び権利関係に関する情報を収集して整理し、その成果を関係者に提供することによって、著作物等の適正かつ円滑な利用を促進することを目的とします。

・沿革

2009 年 3 月 6 日 : 法人設立記者会見
 2009 年 3 月 18 日 : 法人設立
 2009 年 4 月 14 日 : 提案型コンペティションによるシステム開発者の選定を発表
 2009 年 4 月 27 日 : システム開発事業者向け説明会開催 (参加：40 社約 100 名)
 2009 年 5 月 18 日 : システム開発事業者からの提案締め切り (提案者：15 社)
 2009 年 6 月 4 日 : 一次・二次選考を経てシステム開発者に大日本印刷株式会社を選定
 2009 年 7 月 1 日 : 事務所を千代田区神田神保町に移転
 2009 年 7 月 : 基幹業務システム「Fluzo」の開発に着手
 2010 年 3 月 31 日 : 「Fluzo」サービス提供開始記者会見
 2010 年 4 月 1 日 : 「Fluzo」問合せ系機能サービス提供開始
 2010 年 7 月 1 日 : 「Fluzo」報告系機能サービス提供開始
 2011 年 4 月 : 「Fluzo」JASRAC 向け利用曲目報告データ直送サービス開始
 報告データ処理件数が 5,000 万件を超える
 2011 年 10 月 : 「Fluzo」FP 検索機能拡張及びメタ検索改善 (検索エンジン導入)
 メドレー構成楽曲 DB 構築
 2011 年 11 月 : 「Fluzo-S」サービス開始
 2012 年 4 月 : 報告データ処理件数が 1 億件を突破 (2012/4 月報告)
 2012 年 12 月 : 「Fluzo」FP 検索機能拡張 (ハイレゾ音源対応)
 メドレー・動画報告の改善 (メドレー構成楽曲 DB の活用)
 2013 年 7 月 : 「Fluzo」e-License 向け利用曲目報告データ直送サービス開始
 2014 年 3 月 : 「Fluzo」報告データアップロード方法改善 (大量データ対応)
 2014 年 4 月 : 報告データ処理件数が約 1 億 7000 万件となる (2014/4 月報告)

・政府の支援・協力

当機構の事業は、政府の知的財産戦略本部が推進する「知的財産推進計画 2008」及び「知的財産推進計画 2009」に基づき内閣官房知的財産戦略推進事務局、文化庁、総務省及び経済産業省の支援・協力を得て行われています。

※知的財産推進計画 2008 (抜粋)

音楽のネット配信に対応した権利処理を改善する
 音楽のネット配信市場の拡大に伴い急激に増加した権利処理手続が効率的に行われるよう、楽曲コードの付与作業や照合作業等に必要な作業を集中的に処理する第三者機関が 2008 年度中に設立されるよう支援する。(総務省、文部科学省、経済産業省)

※知的財産推進計画 2009 (抜粋)

コンテンツの取引支援システムを構築する
 2009 年度から、音楽配信における利用データを集中処理し、円滑な使用料分配を可能とする「著作権情報集中処理機構」の利用状況を把握し、その円滑な運用を支援する。(総務省、文部科学省、経済産業省)